

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年3月15日

事業所名 放課後等デイサービスふわふわ

	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容 又は改善目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	小グループでの活動形態にする事で、スペースを有効利用できているが、内容によっては(からだづくりなど)狭さを感じる事もある。今年度は新しい部屋を増築したので、支援の幅が広がっている。	・新しい部屋ができ、高等部など大きな子が別に活動できるようになり、とても良かったと思います。 ・十分なスペース化と言えば狭い気もするが、大きい子と小さい子に分けてもらったのはありがたい。	からだづくりのスペースの確保については、自治センターのホールを定期的に借りるように検討していく。
	② 職員の配置数は適切であるか	人員配置は適切にしているが、人事異動や職員の病休等で現場の人員不足を感じている現状。		人員確保ができるよう、募集を行っている。また、支援のグループの編成、活動内容等の検討を行い、無理のない体制で支援を行えるようにしていく。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	和室に入る段差は車いすからの移乗用の段差になっている。		手すりが必要な状況があれば設置していく。
業務改	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	ミーティングの中で、その日の確認と前日の振り返りを行うようにしている。今年度は月1回の職員会議とケース会議を行い、職員全員が参加できるようにした。		職員会議とケースのミーティングを全員参加で行うようにした。(各1回/月)全体で振り返り、個人支援計画の確認等行えた。次年度も継続的に行っていく。
	⑤ 保護者向け評価表を活用する等により、アンケート調査を実施して保護者等の意見等を把握し、事業改善につなげているか	アンケート結果により保護者のニーズを把握し、改善が必要な項目に関する回答と具体的な取り組みを行っている。		今後も行っていく。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	昨年度は、ホームページが利用できなかったため、評価表等は保護者への配布を行った。今年度は、ホームページの掲載と保護者への配布、両方行っていく。		継続して行っていく。
	⑦ 第三者の外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	今後の課題とする。		今後の課題とし、検討していく。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	今年度は、リモートでの研修、法人内研修も多く、職員全体で参加した。また、所内研修も定期的(1回/2か月)に行った。		引き続き行っていく。

⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	アセスメント、ニーズの把握を細かく行い、職員間で共有しながら、個々に応じた支援計画の作成を行っている。		引き続き行っていく。
⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	子どもが通院している病院での結果を知らせてもらい使用している。共通のアセスメントツールの活用に向け、研修を行った。		引き続き行っていく。
⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	活動を担当制にしている。会議の際、職員間で利用児童の特性や能力を考慮し支援目標に沿ったプログラムになるよう検討をしている。		前の月に職員全体で活動内容についての確認、検討の場を持つようにしていきます。
⑫	活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	子どもが興味を持ち、楽しく取り組める内容をベースに、運動・認知・学習等様々な狙いを持ち、プログラムの検討を行っている。		今後も行っていく。
⑬	平日・休日・長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定支援をしているか	平日は、療育的な活動を1つ。土曜日・長期休暇は、療育的な活動に加え、体験的な活動や気分転換・体力増進も視野に入れて外出活動も行っている。		今後も行っていく。新型コロナウイルスも落ち着いてきたので、次年度の休日の活動は、少しずつ地域に出ていく回数を増やしていく。
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	基本は小集団での活動プログラムになるが、必要に応じて個別の対応を行っている。		今後も行っていく。
⑮	支援開始前には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	必ず行っている。必要な共有情報は、ノートに記入し次の支援に役立てるようにしている。		今後も行っていく。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	朝のミーティングの時に打ち合わせと前日の振り返りを行っている。必ず記録に残すようにしている。		朝のミーティングに出られない職員には、記録を基に必ず伝えるようにしていく。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげているか	日々の記録は必ず取るようにしている。翌日の振り返りの際に記録の確認を行っている。		今後も行っていく。

⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6か月ごとにモニタリングを行い、次の支援計画の基にしている。支援の内容や利用児童によっては、期間が短くなる場合もある。		今後も行っていく。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	基本活動を適宜組み合わせ、支援を行っているが放課後等デイサービスの総則が職員に浸透していない。		今後も行っていく。総則についての確認、職員間での周知を行っていく。
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	主として児童発達支援管理責任者が参画している。場合によっては、ケース担当が参加している。		今後も行っていく。
㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時間の確認等)連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	個別支援計画作成時には保護者の了承を得て、学校との連携を図っている。また、日常の連絡調整等は、随時予定表や送迎時に話を伺うなどして行っている。		今後も行っていく。
㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医と連絡体制を整えているか	医療的ケアを必要とする子どもの利用がないので、行っていない。		必要に応じて行っていく。
㉓	就学前に利用していた保育園や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか	新入学児が利用される場合は保育園、幼稚園、児童発達支援事業所との連携を行っている。		今後も行っていく。
㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容のする情報を供等しているか	行っている。今年度は、移行する利用児童がいるので、放課後等デイサービスでの支援の内容等、事業所との連携を図っていく。		今後も行っていく。
㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	子どものケース検討で発達障害者支援センターと連携をとり、職員間での報告は行っているが、研修は行っていない。		次年度も子どものケース会議を通じて広島県障害児発達支援センターとの連携を行う予定。
㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	地域に児童館がなく、児童クラブとの交流も難しく、出来ていない。		今後の検討課題としていく。
㉗	(地域自立支援)協議会へ積極的に参加しているか	担当になっていないため、参加していない。		今後の検討課題としていく。

	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解をもっているか	連絡ノートや送りの職員が様子をつたえている。個別の相談はその都度対応している。		今後も行っていく。
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	ペアレントトレーニングは事業所としては行っていないが、法人内の相談支援事業所が行っている。案内の配布は行っている。		今後も行っていく。事業所内でも行っていけるよう、研修等積極的に受講していく。
保護者への説明責任等	㉓	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	運営規定、支援の内容、利用者負担については、契約時に説明をしている。支援内容や利用者負担等に変更が生じた場合はその都度説明を行っている。		今後も行っていく。
	㉔	保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	事業所内での相談に限らず、電話やメール、送迎時など、その都度声掛けに応じて、対応している。		今後も行っていく。引き続き、利用頻度も少ない(中学生)家庭には、定期的に連絡を取り様子の把握に努める。
	㉕	父母の会の活動をしたり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	今年度は2回行う事ができた。そのうちの1回は保護者のニーズに沿った内容で行う事ができた。		次年度は、保護者からのニーズも上がっているので、回数を増やし行っていく。
	㉖	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整えるとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	苦情相談窓口を設置している。苦情が出た際には、迅速に対応している。		今後も行っていく。
	㉗	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連携体制等の情報を子どもや保護者等に対して発信しているか	通信は予定していた回数には行できなかったが、年に3回出していた。		次年度は通信の回数を増やしていく(1回/2カ月)。職員間で担当を決めていく。
	㉘	個人情報に十分注意しているか	個人情報に関わる資料は、事務所内の書庫で管理をしている。また、事務所内の整理整頓に努め、個人情報が来所者の目に触れないよう気を付けている。		今後も引き続き、十分な対応をしていく。

	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	子どもへは視覚支援(絵や文字、スケジュールの使用)で意思疎通を行っている。送迎の際や連絡ノートでやり取りをしている。連絡事項の伝達漏れを防ぐために口頭ではなく、メモ伝達を徹底している。		今後も引き続き配慮を行っていく。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を行っているか	今年度もハロウィンの取り組みの際に、収穫したお米を地域へ配布する活動を行った。コロナの影響で招待は難しかった。		状況が落ち着けば、今後も引き続き地域との連携を行い、地域に開かれた事業運営を行っていく。行事への地域住民の招待については保護者会の定例となってきた焼き芋大会等を検討をしていく。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	保護者・職員への配布、説明を行った。		今後も引き続き行っていく。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	今年度は6回行った。どの子も経験できるよう、各曜日(月～土)で行った。火災・地震・不審者対応を各2回ずつ行った。		今後も子ども達に避難訓練が定着していけるよう継続して行っていく。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	法人内研修に職員全員が受講した。また、県の研修を代表者が受講し、職員間での周知を行った。		今後も引き続き行っていく。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	身体拘束を行う必要は今のところない。必要に応じて、保護者の了解を得た上で計画に記載していく。		身体拘束について改めて職員間で確認を行っていく。
	④⑫	食物アレルギーの子どもについて医師の指示量に基づく対応がされているか	クッキングで調理するものでのアレルギー該当者が今はいない。		再度、アレルギーの有無の確認を行い、除去の必要な子どもについては、医師の診断書を提出してもらい、対応表を作成していく。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	その日のうちに職員間で確認し共有後、対策を立てている。		今後も引き続き行っていく。